

大会の感動とレガシー!!

本県出身の出場選手が過去最多となった東京2020オリンピック・パラリンピック。令和4年新年号では、吉村知事と9名の選手の皆さんに特別に紙面对談の形式で語っていただきました。



山形県知事 吉村美栄子



ボクシング



アーチェリー



水泳



水泳



バレーボール



水泳



水泳



テコンドー



シッティングバレーボール

知事 県民の皆さん、あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひします。

さて、昨年はコロナ禍ではありましたが、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、数多くの感動のドラマが世界中に発信されました。本県からは9名の選手が最高の舞台で、持てる力を存分に発揮され、私たち県民に元氣と感動を与えてくれました。

選手の皆さん、まずは、本当にお疲れさまでした。そして、ありがとうございました。

オリンピック・パラリンピックの舞台で戦い終えてから時間も経ちましたが、振り返ると、さまざまな想いがあるのではないですか。

東京2020大会を振り返って

岡澤 大会では、県民の皆さまよりたくさん応援を頂き、本当に力になりました。悔しい結果となりましたが、テレビやオンラインで、普段では考えられないくらい多くの方々がこの競技、そして自分の

試合を見てもらい、幸せな大会となりました。あらためて五輪という舞台の影響力・注目度を感じました。

中村 最終選考を残した状態で1年延期され、不安な気持ちを持ちながらトレーニングを続けていたので、無事に開催されたことに感謝しています。

そんな思いで挑んだオリンピックは、他の国際大会では経験できない特別な試合になりました。メダルは獲れませんでした。この経験は一生忘れません。

三浦 全敗という結果となったので悔しい気持ちが残りました。今後は、この経験を生かし、指導者として頑張っていきたいです。

鈴木 オリリンピックという舞台は夢だったので、出場できて素直に嬉しかったです。ただ、勝負の世



岡澤セオン選手(山形市出身)
平成7年生まれ。日大山形高校でボクシングを始め、高校3年時のインターハイで5位入賞、中央大学4年時に国体準優勝。2019年アジア大会でウェルター級銀メダル獲得。昨年11月の世界ボクシング選手権では日本人初の金メダルを獲得。

界なので、予選リーグ敗退という結果には申し訳ない気持ちがあります。

高梨 「テレビを見ながら応援するよ」といった多くの温かい応援メッセージを頂き、その応援を力に変えて戦いきることができたことを嬉しく思います。

ます。応援があると普段以上の力が出来ます。

知事 県民の皆さんの応援が、力となり励みになったということですね。

東海林 ずっと目標にしてきた東京パラリンピックに出場できて、とても嬉しかったです。今までで、一番緊張しましたが、それでも「これまで応援してくれた方々に感謝の気持ちを持って、最後まで諦めないで泳ごう」と決め、200m個人メドレー決勝では余計なことは一切考えず、自分の泳

ぎに集中しました。結果は4位でしたが、悔いはありません。皆さんの支えがあったからこそ「やり切った!」という達成感を得ることができました。

齋藤 大会を開催していただいたことには感謝しかありません。私が出場したことで、山形県の関係者など多くの方々がパラスポーツに触れる機会を作れたことをとても嬉しく思っています。

選手としては、日本記録を個人3種目で更新しましたが、最終目標の表彰台は遠かったです。この悔しさを忘れず、今後も、練習に励んでいきます。

太田 困難があっても諦めずに、限界を突き抜ける力を信じて、全力を尽くすことができました。冬夏両方の夢の舞台に挑戦できて幸せでした。



中村美樹選手(鶴岡市出身)
平成4年生まれ。鶴岡三中でアーチェリー部へ入部し、競技の面白さにのめり込む。鶴岡工業高校3年時のインターハイで個人3位。日本体育大学4年時の2014年世界室内選手権で準優勝。2017年世界選手権で日本代表に初選出。

という競技を多くの方に知っていただく良い機会となったことは、一つの成果だと前向きに受け止めています。

知事 厳しい練習に耐え、世界の舞台で最高のパフォーマンスを見せてください。

さった皆さんにはあらためて敬意を表します。スポーツは観る人に感動や勇気を与えてくれる素晴らしい力を持っています。皆さんにとって『スポーツ』とはどのような存在なのでしょう?